○第88回農薬専門調査会幹事会（公開）

日時：平成24年11月20日（水）14：00～17：10

議事概要：

（1）農薬（シヘキサチン、アゾシクロチン、1,3-ジクロロプロペン）の食品健康影響評価について

①シヘキサチン及びアゾシクロチン

・審議の結果、シヘキサチン及びアゾシクロチンのグループの一日摂取許容量（ADI）を0.0026 mg/kg体重/日とし、評価書（案）を一部修正の上、食品安全委員会に報告することとなった。

*殺虫剤で、日本国内での農薬登録はありません。ポジティブリスト制度導入に伴う残留基準（いわゆる暫定基準）が設定されています。シヘキサチンについては、かんきつ類等へのインポートトレランス申請がされています。

②1,3-ジクロロプロペン

・審議の結果、一日摂取許容量（ADI）を0.02 mg/kg体重/日とし、評価書（案）を一部修正の上、食品安全委員会に報告することとなった。

*殺線虫剤で、だいこん、キャベツ等に使用し、たまねぎ等への適用拡大申請がされています。

（2）農薬（イソプロチオラン、ピリフルキナゾン、ブプロフェジン）の食品健康影響評価について

①イソプロチオラン

・審議の結果、一日摂取許容量（ADI）を0.1 mg/kg体重/日とし、評価書（案）を一部修正の上、食品安全委員会に報告することとなった。

*殺菌剤で、稲、りんご等に使用します。動物用医薬品としては、牛の肝疾患用剤として用いられます。今回、かんしょ、おうとうへの適用拡大申請がされています。

②ピリフルキナゾン

・審議の結果、一日摂取許容量（ADI）を0.005 mg/kg体重/日とし、評価書（案）を一部修正の上、食品安全委員会に報告することとなった。

*殺虫剤で、トマト、りんご、茶等に使用します。今回、だいこん、はくさい、ブロッコリー、ねぎ、アスパラガス、なす、きゅうり、すいか、メロン、小粒核果類、おうとう、マンゴーへの適用拡大申請がされています。

③ブプロフェジン

・審議の結果、一日摂取許容量（ADI）を0.009 mg/kg体重/日とし、評価書

(案) を一部修正の上、食品安全委員会に報告することとなった。

* 殺虫剤で、稲、かんきつ、茶等に使用します。今回、とうがらし類、ネクタリン、うめ、おうとうへの適用拡大申請がされています。

(3) 農薬 (γ -BHC (リンデン)) の食品健康影響評価について

① γ -BHC (リンデン)

・ 継続審議となった。

* 殺虫剤で、日本国内での農薬登録はありません。ポジティブリスト制度導入に伴う残留基準が設定されています。